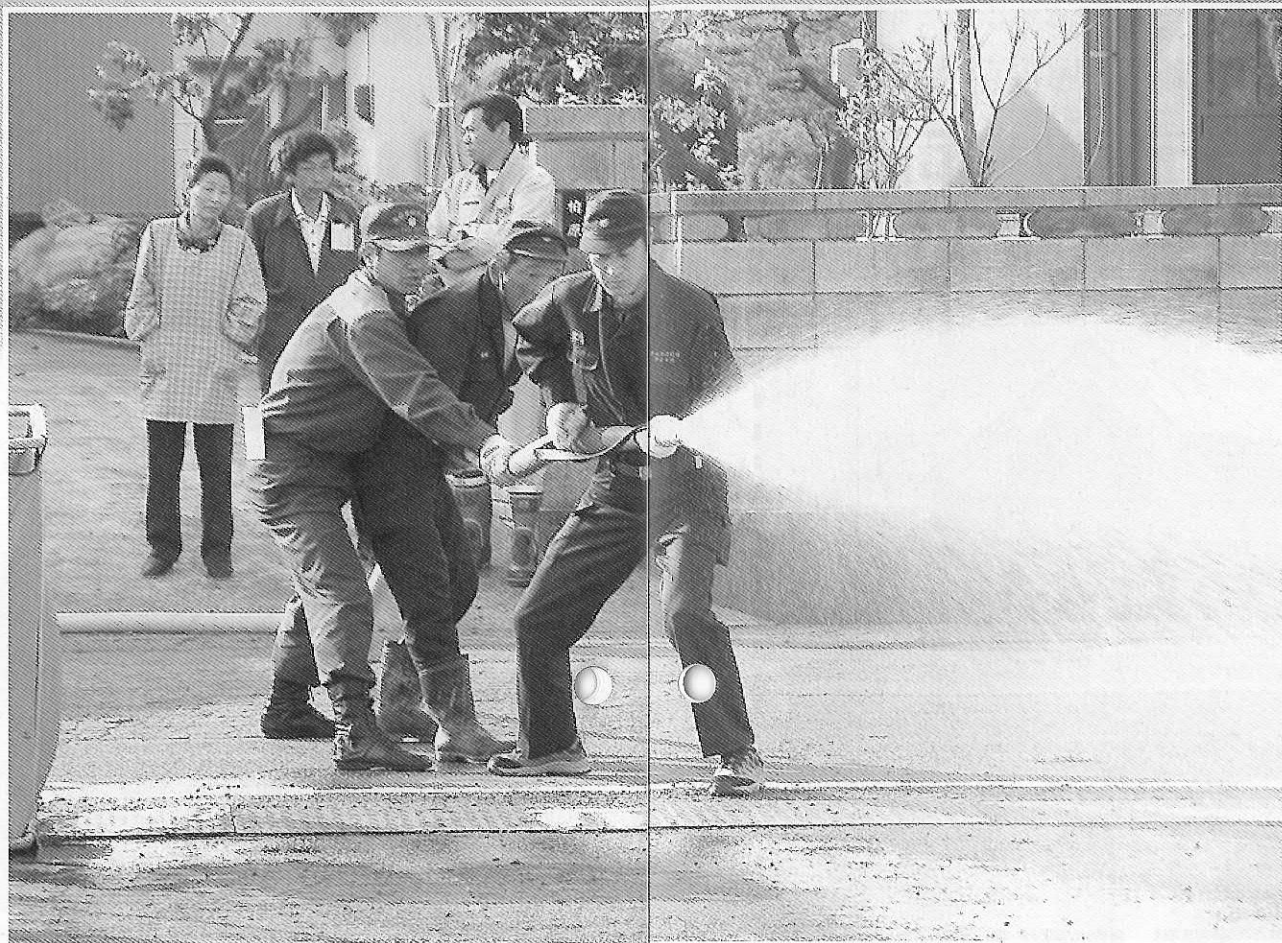


23年前の教訓を活かして 八峰町防災訓練が 開催されました

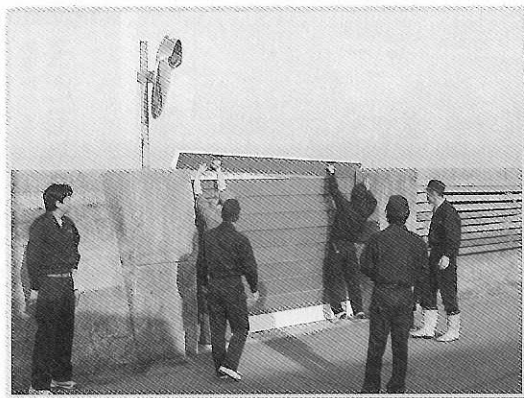
「県民防災の日」の5月26日、八森地区と峰浜地区の2か所で大規模な地震にともなう津波や火災を想定した防災訓練が行われました。この訓練は今から23年前の昭和58年5月26日、甚大な被害を及ぼした「日本海中部地震」を教訓に、消防署、消防団、地域住民が一体となって被害の軽減や防災意識の啓発のために毎年行われています。



八森地区では
大津波を想定
避難訓練や
防潮門閉鎖訓練を実施

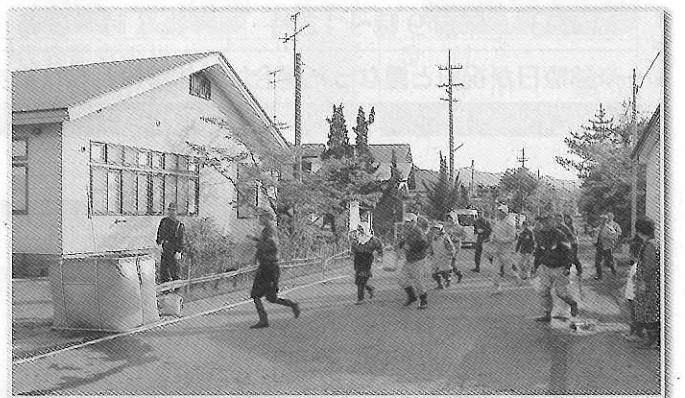
八森地区では23年前の津波によって、10名の尊い命が奪われ、たくさんの家屋や船舶が倒壊するなど、甚大な被害を受けました。そこで、大津波が発生したことを想定して、避難訓練や防潮門などの閉鎖訓練を行いました。

午前6時に防災無線による地震発生の場合、消防団の各分団が津波被害を最小限に抑えるため、防潮門や防潮扉を閉鎖。岩館地区の住民は分団の誘導に従い、速やかに高台へと避難しました。訓練の会場となった岩館地区は特に津波被害が大きかった地域で、参加者たちは真剣



▲防潮門扉の閉鎖訓練

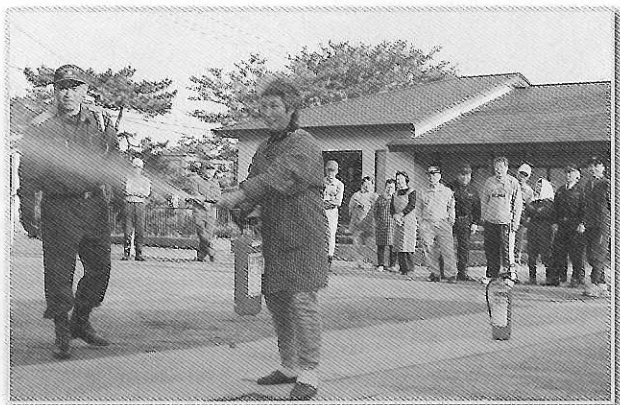
な表情で本番さながらに取り組んでいました。その後、岩館子ども園で行った初期消火訓練では、訓練に駆けつけた地域住民数名が行い、消防署員の説明を受けた後、消火器による消火を体験しました。



▲地域住民がいち早く現場にかけつける

峰浜地区では
住民によるバケツリレーの
初期消火訓練を実施

峰浜地区では、日本海で強い地震が発生し、石川多目的集会施設付近で火災が発生したことを想定。午前6時30分、「火事だー。火事だー。」と住民による火事ふれとともに、119番通報を行い、周辺の住民がいち早く現場に駆け付けて、バケツリレーによる初期消火訓練を実施しました。その後、地元分団が動し、ミスのない動作で放水訓練が行われました。参加した住民や地元分団からは本番さながらの緊迫感が感じられました。

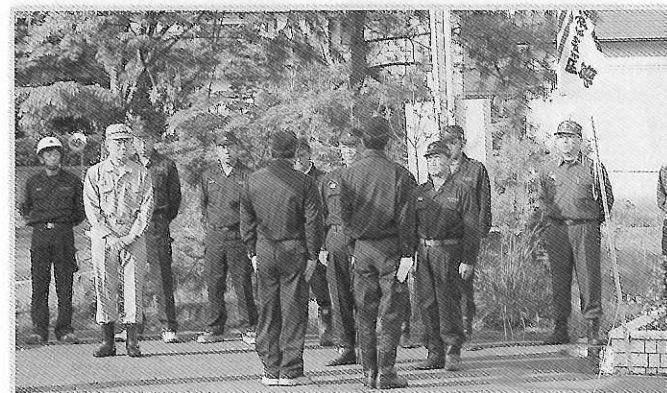


▲消火器を使っでの初期消火訓練

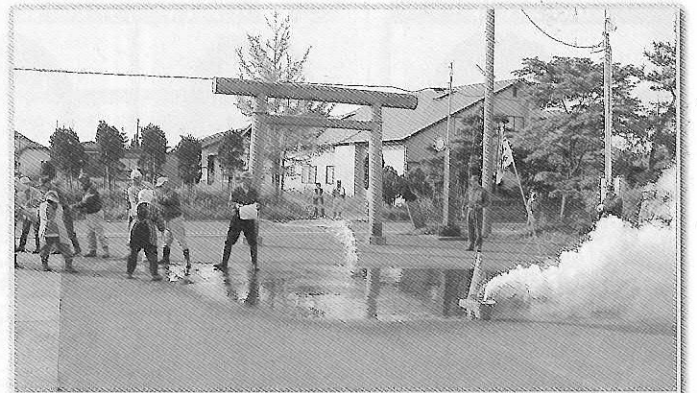
地震が起きたら

地震が発生したら、すばやく正確な判断が生死を分けることがあります。正しい知識を身に付け冷静に行動しましょう。

- ①まず身の安全を確保する
- ②すばやく火の始末
- ③戸を開けて出口を確保
- ④火が出たらすぐ消火する
- ⑤あわてて外へ飛び出さない
- ⑥協力し合って救出・救護



▲団長への報告



▲バケツリレーによる初期消火訓練

八峰町障害福祉法指定店 各眼科処方箋取扱店
補聴器・メガネ・時計・宝石・はんこ・ゴム印

吉田時計メガネ店

一級技能士 吉田 功市
医療機器販売管理者 吉田 泰

八峰町八森字中浜15-2 電話: 77-2034
ご自宅までお伺いします。お気軽にどうぞ。

皆川薬局

どちらの処方せんでもお受けします。
薬剤師 皆川 鉄治・皆川 真実

八峰町峰浜沢目駅前 TEL. 76-2052・FAX. 76-2199
営業時間 7:00~20:00/休業日 日曜日・祝祭日